

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

## 事業名 施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 畜産指導課 電話番号：0574-62-1226

E-mail : c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,146 千円 (前年度予算額： 5,038 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,038	0	0	0	0	0	0	0	5,038
要求額	3,146	0	0	0	0	0	0	0	3,146
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

## ○農業大学校内酪農施設バンクリーナー稼働系統部等取替工事

現在、農業大学校の乳牛舎では、乳牛が排せつした糞等を毎日2回機械的に牛糞を排出する設備であるバンクリーナーで舎外に搬出し、スキッドステアローダーで堆肥舎まで運んでいる。当該設備は設置後42年が経過し、バンクリーナーを構成するチェーンや駆動モーター等の各部品が経年劣化による摩耗等で傷んでおり、チェーン外れや過重負荷による故障が頻発している。バーンクリーナーは乳牛舎における牛糞搬出の要であり、一度故障すると修理に時間を要し、牛糞搬出が滞ることによる畜舎の衛生管理に重大な支障をきたすことになる。特に糞等が滞留すると悪臭が身体に害を及ぼすアンモニア等が発生し、家畜のみならず学生や職員にも健康被害が及ぶことになる。以上により、重大な故障が発生する前に早急な改修工事を行う必要がある。

## (2) 事業内容

## バーンクリーナー稼働系統等取替工事

バンクリーナーを構成するチェーンや駆動部のモーター、ガードレール等の主要な部品を更新することにより、スムーズな糞の搬出と負荷の軽減を行い、家畜排せつ物の処理体系の効率化を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方  
県10/10（県公用施設であるため）

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	3,146	バンクリーナー稼働系統等取替工事
合計	3,146	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
  - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
  - (3) 農林畜水産業の活性化
    - ①農林畜水産業を支える人材の育成・確保
- ・「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」

#### (2) 国・他県の状況

- ・岐阜県を含む42道府県が農業大学校を設置

#### (3) 後年度の財政負担

今回の更新で全ての部品が更新できるわけではないので、細かな修繕は今後も必要になると思われる。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

県

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

#### ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化施設を改修整備することにより、学生の安全を確保するとともに、少子化時代にも選ばれる学校づくりをすすめる。

それにより、入学者を維持、卒業生を新たな担い手として育成し、多様な担い手づくりや売れるブランドづくりなど県施策の推進を推進します。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	R6達成率
①入学者数	28人	27人/30人	30人	30人	30人	90%
②卒業者数	25人 (H30入学者)	20人/30人 (R5入学者)	26人 (R6入学者)	27人 (R7入学者)	30人	66%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 農業大学校圃場内各施設の小修繕については、学生指導に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標① 目標： 30人 実績： 28人 達成率： 93%
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 農業大学校圃場内各施設の小修繕については、学生指導に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標① 目標： 30人 実績： 20人 達成率： 66%
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 農業大学校圃場内各施設の小修繕については、学生指導に支障を来さぬよう適宜対応してきた。
	指標① 目標： 30人 実績： 27人 達成率： 90%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	農業大学校の古い施設や設備を整備していくことで、円滑に学校運営を進めることができる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	老朽化施設を整備することで、学生のプロジェクト研究をより効果的、効率的に実施することができ、一定の成果が認められる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	施設整備の優先度、有効性について施設ごとに検討し、計画的に整備を進めている。

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

今回の更新で全ての部品が更新できるわけではないので、細かな修繕は今後も必要になると思われる。

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
施設の老朽化について計画的に修繕を行っていく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	